

第12回離島対策等検討会 議事録

1. 日時 平成19年11月27日(火)10時20分～11時30分
2. 場所 日本自動車会館11階
(財)自動車リサイクル促進センター第2会議室
3. 現在の委員数 3名
4. 出席者 藤井座長、大杉委員、堀委員
以上3名全員出席
5. 議題 1)平成20年度 離島対策等支援事業資金出えん計画(案)
2)市町村受付および支払い業務確認検査(案)概要
6. 議事録

議題1)については、資料3「平成20年度 離島対策等支援事業資金出えん計画(案)」を中心に、議題2)については、資料4「市町村受付および支払い業務確認検査(案)概要」に基づき説明し、両議題とも承認された。

なお、上記2議題は12月11日(火)に資金管理業務諮問委員会にて報告済み。

主な質疑・意見は次ページをご覧ください

【主な質疑・意見】

(注)◇は委員からの質問・意見 ◆は事務局からの説明

(1) 離島対策支援事業について

- ◇ 離島対策支援事業については、事業ニーズのある全自治体から要請があり、申請台数についても増加傾向にあるため、ますます順調に推移していると評価できる。
一部自動車リサイクルのルートに乗らないで、使用済み自動車となっている離島でのケースに関しても、センターの対応によって今後申請が増加することが期待されることから、年度内に申請が増加し年度予算を超える場合は、事業定着のためにも補正予算にて対応すべき。
- ◆ 申請台数については、今後も順調に増加するよう支援活動を継続する。
予算は十分確保してあるが、超える場合には補正予算にて対応する。

(2) 海上輸送費について

- ◇ 輸送単価の上昇に対しては、慎重に原油市況等を確認し、適正な価格を維持するべき。
- ◆ 今後も原油の市況に注視しつつ、各自治体が適正な輸送単価を維持するよう、しっかりフォローする。
- ◇ 地元負担分(2割)を自動車ユーザーではなく自治体が負担しているケースがあるとのことだが、自治体の取り組みを紹介する意味でも公表するべき。
- ◆ 該当する各自治体の了解を得たうえで、公表する。

(3) 市町村受付および支払い業務確認検査について

- ◇ 市町村受付および支払い業務確認検査については、不適正な運用に対する「気付きの機会」として位置付け、一層の事業定着・安定化を図ること。
そのために「市町村受付および支払い業務確認検査マニュアル」を公開するべき。
なお、自治体担当者の不注意、不慣れに起因する不適正運用については、弾力的に対応するべき。
- ◆ 検査マニュアルについては、公開する。

以上